



2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月14日

上場会社名 タケダ機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6150 URL <https://www.takeda-mc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹田 雄一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)鈴木 修平 (TEL) (0761)58-8231
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	2,360	△37.3	30	△91.7	92	△75.4	62	△74.1
2020年5月期第3四半期	3,766	△17.5	370	△45.5	377	△45.9	240	△54.2

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 66百万円 (△72.8%) 2020年5月期第3四半期 244百万円 (△51.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	67.90	—
2020年5月期第3四半期	261.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	6,264	4,022	64.2
2020年5月期	6,447	4,029	62.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 4,022百万円 2020年5月期 4,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	80.0	80.0
2021年5月期	—	0.00	—		
2021年5月期(予想)				20.0	20.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,300	△34.7	35	△93.4	100	△81.6	65	△81.5
								円 銭
								70.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年5月期3Q	1,020,000株	2020年5月期	1,020,000株
2021年5月期3Q	100,303株	2020年5月期	100,192株
2021年5月期3Q	919,763株	2020年5月期3Q	919,924株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による深刻な景気後退から官民が一体となって経済活動を再開させようと模索するものの、企業の生産活動や設備投資活動は依然として弱く、その回復の見通しは不透明なまま推移しております。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に取り組み、前連結会計年度の第4四半期から続いた展示会の中止や営業活動の制限は当第3四半期より段階的に解除され再開しつつありますが、著しい景況の悪化に伴うお客様の機械稼働の低下といった厳しい事業環境は継続しており、これらの要因は当社グループの操業にも影響を与え、この結果、前年同期の業績と比較して大きく収益が減少しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,360百万円(前年同期比37.3%減)、営業利益は30百万円(前年同期比91.7%減)、経常利益は92百万円(前年同期比75.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円(前年同期比74.1%減)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は1,326百万円(前年同期比49.0%減)、丸鋸切断機は269百万円(前年同期比13.5%増)、金型は250百万円(前年同期比21.2%減)、受託事業・その他は122百万円(前年同期比27.4%減)、部品は324百万円(前年同期比13.4%減)、サービスは66百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

なお、当社グループの事業は金属加工機械事業(注)の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を工作機械関連事業から金属加工機械事業に変更しておりますが、業績に与える影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円減少となりました。

これは、主にたな卸資産が275百万円増加したこと、また現金及び預金が230百万円、受取手形及び売掛金が204百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は2,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円減少となりました。

これは、主に短期借入金が増加したこと、また長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が246百万円、支払手形及び買掛金が80百万円、賞与引当金が72百万円、未払法人税等が57百万円、役員賞与引当金が22百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少となりました。

これは、主にその他有価証券評価差額金が増加したこと、また利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の通期連結業績予想は、2021年1月14日付「2021年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,643	853,002
受取手形及び売掛金	1,110,405	905,412
製品	1,029,071	1,311,572
仕掛品	283,373	300,444
原材料	438,426	414,641
その他	29,049	107,914
流動資産合計	3,973,970	3,892,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	581,137	557,779
土地	967,629	967,629
その他(純額)	412,455	349,163
有形固定資産合計	1,961,222	1,874,572
無形固定資産	192,056	165,184
投資その他の資産		
繰延税金資産	60,299	31,344
その他	262,881	303,561
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	320,040	331,766
固定資産合計	2,473,319	2,371,523
資産合計	6,447,290	6,264,510
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,420	341,387
短期借入金	350,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	354,640	260,572
未払法人税等	57,975	—
賞与引当金	112,655	40,040
役員賞与引当金	27,450	4,687
製品保証引当金	2,880	2,506
その他	276,289	230,284
流動負債合計	1,603,310	1,629,477
固定負債		
長期借入金	544,462	391,990
役員退職慰労引当金	54,387	61,812
その他	215,512	158,956
固定負債合計	814,361	612,759
負債合計	2,417,672	2,242,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	44,103	44,103
利益剰余金	2,292,572	2,281,438
自己株式	△168,546	△168,820
株主資本合計	4,042,213	4,030,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,594	△8,531
その他の包括利益累計額合計	△12,594	△8,531
純資産合計	4,029,618	4,022,274
負債純資産合計	6,447,290	6,264,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2021年2月28日)
売上高	3,766,926	2,360,407
売上原価	2,669,432	1,726,993
売上総利益	1,097,494	633,413
販売費及び一般管理費	726,664	602,607
営業利益	370,830	30,805
営業外収益		
受取利息	180	86
受取配当金	3,398	3,084
仕入割引	22,280	12,986
助成金収入	2,210	52,188
その他	7,775	14,281
営業外収益合計	35,844	82,626
営業外費用		
支払利息	10,666	9,323
売上割引	18,130	10,277
その他	670	850
営業外費用合計	29,467	20,451
経常利益	377,206	92,981
特別利益		
固定資産売却益	1,499	3,311
投資有価証券売却益	—	5,698
特別利益合計	1,499	9,010
特別損失		
投資有価証券評価損	12,088	—
固定資産除却損	426	425
特別損失合計	12,514	425
税金等調整前四半期純利益	366,192	101,565
法人税、住民税及び事業税	106,029	12,756
法人税等調整額	19,492	26,359
法人税等合計	125,521	39,115
四半期純利益	240,670	62,450
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,670	62,450

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	240,670	62,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,018	4,063
その他の包括利益合計	4,018	4,063
四半期包括利益	244,689	66,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,689	66,513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

第2四半期連結会計期間より、前事業年度の有価証券報告書「第5 経理の状況、1 連結財務諸表等、(1) 連結財務諸表、注記事項 (追加情報)」に記載した内容を変更しております。

当社グループ(当社及び連結子会社)は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りを行うに当たり、当該感染症の影響が及ぼす期間の仮定について、当連結会計年度の年内に当該感染症の影響が収束し、年明け以降は徐々に業績が回復に向かうとしておりましたが、想定以上に長引いている現状を踏まえ、翌連結会計年度まで業績に与える悪影響は徐々に縮小しながらも継続しつつ、翌々連結会計年度以降は緩やかに回復するものと見直し、当第3四半期連結累計期間における会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性等)を会計処理に反映しております。

なお、当該感染症が及ぼす影響については、将来における不確実性が高く、これが長期化した場合は、現在の見積り及び仮定と大きく異なる可能性があります。